

令和8年度 新規採択希望

農村地域防災減災事業

事業計画書

ひがしがさこ  
東ヶ迫 地区

宮崎県

宮崎市

九州農政局

# 目

第1章 目的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地域	1
第2節 地積	1
第3章 現況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	2
3. 海象	3
第2節 土地状況	3
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3
2. 土地分類	4
3. 土地利用の状況	4
4. 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1. 用水状況	5
2. 排水状況	7
3. 河川状況	9
第4節 道路概況	9
1. 道路概況	9
2. 主要道路一覧表	9
第5節 地域農業の概況	10
1. 産業別就業人口	10

# 次

2. 経営耕地広狭別農家数及び 耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 専兼業別農家数	10
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	10
4. 主要作物作付状況	11
5. 農業の動向	11
第6節 地域環境の概要	11
第4章 一般計画	12
第1節 事業計画の要旨	12
1. 要旨	12
2. 事業別面積	12
第2節 営農計画及び土地利用計画	12
1. 営農計画の概要	12
2. 土地利用区分	12
3. 作付方法	13
4. 生産計画	13
5. 労働改善計画	14
6. 級地別土地利用区分	14
7. 土地配分計画	15
第3節 用水計画	15
1. 計画基準年	15
2. 計画かんがい方式	15
3. 計画用水系統	15

4. 計画用水量	15
5. 水源計画	16
第4節 排水計画	18
1. 計画基準雨量	18
2. 計画排水方式	18
3. 計画排水系統	18
4. 計画排水量	18
5. 排水対策	18
6. 湛水検討	19
第5節 道路計画	19
1. 道路及び索道	19
2. 路線配置図	19
第6節 農用地造成計画	20
1. 農用地造成計画	20
2. 土壌改良	20
第7節 洪水調節計画	20
1. 計画基準雨量	20
2. 計画洪水量及び調節量	20
3. 貯水池	20
4. 洪水調節検討	21
5. 管理計画	21
第8節 干拓計画	21
第9節 農地整備計画	21
1. 区画整理	21

2. 暗渠排水	22
3. 客土	22
4. 農地保全	22
第10節 老朽ため池改修計画	23
1. 洪水吐改修計画	23
2. 堤体補強計画	23
3. 取水施設改修計画	23
第5章 主要工事計画	23
第1節 用水施設	23
1. 貯水池	23
2. 頭首工	23
3. 揚水機	24
4. 用水路	24
5. その他かんがい施設	25
第2節 排水施設	25
1. 排水水門	25
2. 排水機	25
3. 排水路	25
4. その他排水施設	25
第3節 道路及び索道	26
1. 道路	26
第4節 農用地造成	26
1. 農用地造成工	26
2. 土壌改良	27

第5節 洪水調整施設	28
1. 貯水池	28
2. 頭首工及び導水路	28
第6節 干拓施設	28
1. 堤防	28
2. 潮止め	28
3. 付属施設	28
4. 埋立	28
第7節 農用地整備施設	29
1. 区画整理	29
2. 暗渠排水	29
3. 客土	30
4. 除礫	30
5. 農地保全	30
第8節 老朽ため池改修施設	31
1. 貯水池	31
2. 提体補強施設	31
第6章 付帯工事計画	31
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	31
第8章 環境との調和への配慮	31
第9章 換地計画の概要	32
第1節 換地計画を作成する上で基本的な考え方	32
第2節 換地区の設定	32

1. 換地区の名所、所在、面積	32
2. 換地区の設定する理由	32
第3節 換地計画樹立の基本方針	32
1. 従前の土地の地積の基準	32
2. 用途別予算地積	32
3. 農用地集団化の方針	33
4. 非農用地の換地の方法	33
第4節 土地の評価及び精算の方法	33
1. 評価の方法	33
2. 精算の方法	33
第5節 換地計画樹立の年度計画	33
第10章 事業費の総額及び内訳	34
第11章 効用	35

## 第1章 目的

### (1) 必要性

本ため池は築造年代の古いため池である。取水施設は竖樋構造であり、緊急放流孔も無いため機能管理及び緊急時の対応が困難な状況にある。洪水吐は断面不足で、大雨時の越水及び破堤の危険性が懸念される。また、堤体はパイピングによる陥没が発生しており、漏水による危険性からため池に貯水できない状況となっている。

### (2) 緊急性

この様な状況の中、堤体決壊となればため池直下の太陽光発電施設や県道及び農業用施設等への多大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な改修が必要である。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農村地域防災減災事業	宮崎市清武町今泉甲1364-1

### 第2節 地積

(第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
農村地域防災減災事業	宮崎市		16.9				3.0	19.9	
			16.9				3.0	19.9	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	宮崎地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	1971-2012	4月～9月	10月～3月		
平均気温 (°C)		23.0°C	11.9°C	17.4°C	気象台データ
降水量	平均 (mm)	1,835mm	673mm	2,508mm	気象台データ
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (日)				資料なし
	基準年 (日)				
根雪期間					資料なし
無霜期間					資料なし
最多風向					資料なし

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 宮崎地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	587.2	S14.10.16		490.2	M19.9.24		437.5	H2.9.29		430.4	S9.10.23		387.3	S41.8.14		
最大時間雨量 (mm)	139.5	H7.9.30		134.0	S14.10.16		91.6	S17.6.23		87.0	S26.10.13		82.5	S58.9.27		
最大24時間雨量 (mm)	589.5	S14.10.16		560.5	H2.9.29		430.5	S9.10.23		422.2	S18.9.19		420.8	S26.10.13		
最大連続雨量 (mm)																資料なし
最大連続干天日数 (日)		～			～			～			～			～		資料なし

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間								
実測値								

第2節

土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		傾斜区分	1/1000以上	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			5°~20°	20°以上	計		最高	最低
			8°~10°	10°~15°	8°~15°														
農村地域防災減災事業	面積(ha)			16.9			16.9									15.9	6.6		
	比率(%)																		
合計	面積(ha)			16.9			16.9												
	比率(%)			100.0			100.0												

(第4表-1-2)

項目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面積(ha)		備考	
	土 壤 断 面								事業名			
	土壌統(区)名	色	腐食	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層・黒泥層・及びグライ層	堆積様式		母材
第4期沖積層	褐色	含む	—	—	砂質シルト	粘土	粘土	—	堆積土		16.9	16.9
計												

該当なし

(第4表-1)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0~25%	25%~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2.土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計 (ha)	備考	
		一級地	二級地				三級地				四級地			
			*	3°~8°	8°~12°	12°~15°	*	15°~20°	20°~25°	25°~30°	*			30°以上
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
														*は傾斜以外の 要因によるもの
	計													

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干拓					備考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
	計						

3.土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別	耕地					山林		採草 牧草地	原野	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他の 樹園地	用材林					
ため池	宮崎市	16.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.9	
	合計	16.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.9	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	県有			計	備考
	区分							
農村地域防災減災事業	面積 (ha)		16.9				16.9	
	受益者数 (人)		52				52	
	筆数 (筆)		134				134	
	権利関係							
	備考 (関係戸数)		52				52	
合計	面積 (ha)		16.9				16.9	
	受益者数 (人)		52				52	
	筆数 (筆)		134				134	
	権利関係							
	備考 (関係戸数)		52				52	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 事業計画概要表P3-P4平面図参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧

(第5表-1)

事業名	項目	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		20ha以上		20ha~10ha		10ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災減災事業	貯水池					1	16.9	1	16.9						
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計		—	—	—	—	1.0	16.9	1.0	16.9	—	—	—	—	—	

(イ)改修する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農村地域 防災減災事業	貯水池	1	16.9	均一型	堤長:100m 堤高:6.00m	不明	本ため池は築造年代の古いため池である。取水施設は堅桶構造であり、緊急放流孔も無いため機能管理及び緊急時の対応が困難な状況にある。洪水吐は断面不足で、大雨時の越水及び破堤の危険性が懸念される。また、堤体はパイピングによる陥没が発生しており、漏水による危険性	
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計		1	16.9				
合計		1	16.9					

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m3)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				(m3/s)	(m3/s)	(千m3)	(千m3)			
	計									
	合計									

(イ)その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	16.9		3.0	19.9	45.90	27.90	59.70	23.00	71.73	228.23	
計											

## 2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			100ha以上		100ha~50ha		50ha未満		計				
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益 面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
合計									

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水 面積 (ha)	降水量 (mm/hr)	湛水状況				乾湿状況(ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
	計		平均													
			基準年													

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況

該当なし

2. 主要道路一覧表

該当なし

(第6表)

NO	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改善の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(H27年国勢調査) (第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
宮崎市		187,229	8,938	338	385	26	13,661	15,184	1,126	11,484	31,391	5,566	3,498	38,480	8,730	48,422	
計		187,229	8,938	338	385	26	13,661	15,184	1,126	11,484	31,391	5,566	3,498	38,480	8,730	48,422	
比率(%)		100.0%	4.8%	0.2%	0.2%	0.0%	7.3%	8.1%	0.6%	6.1%	16.8%	3.0%	1.9%	20.6%	4.7%	25.9%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(H27年農林業センサス) (第7表-2)

市町村名	区分	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数										1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備考	
			0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 以上	経営 耕地 なし	例外規定の 適用を受け るもの(自 給も含む)	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当 たり 団地数	団地当 たり面 積(ha)	専業	兼業		
																						第一種		第二種
宮崎市		3,628	95	624	1,073	666	335	387	288	130	30										2,195	555	878	
計		3,628	95	624	1,073	666	335	387	288	130	30										2,195	555	878	
比率(%)		100.0%	2.6%	17.2%	29.6%	18.4%	9.2%	10.7%	7.9%	3.6%	0.8%										60.5%	15.3%	24.2%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(H27年農林業センサス) (第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具								主要家畜								備考
		トラクター耕運機		田植機		バインダー		コンバイン		乳牛		肉用牛		豚		鶏		
		数量 (台)	戸数 (台)	数量 (台)	戸数 (台)	数量 (台)	戸数 (台)	数量 (台)	戸数 (台)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
宮崎市		4,333	2,981	2,060	2,019			1,810	1,768	101	4	12,672	414	13,530	10	32,287	24	
計																		
	100戸当たり数量(台・頭・羽)		145		102				102			2,525		3,061		135,300		134,529
	利用戸数割合(%)																	

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		宮崎市				計		平均		作付率	備考
総耕地面積 (ha)		8,010				8,010					
総本地面積 (ha)										(%)	
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (Kg/10a)		
	田	表作	2,050	484					2,050	484	25.6%
裏作											
小計		2,050						2,050		25.6%	
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小計										
樹園地	表作										
	裏作										
	小計										
計		2,050						2,050		25.6%	
市町村別延べ作付率 (%)		-				-		-			

5. 農業の動向(宮崎市)

(第7表-5)

項目 区分	農家 (戸)			土地 (ha)			主要作物 (ha)			大家畜			動力農機具			地域 指定当	備考
	B	A		B	A		作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状況 (C年 を100と する指 数)	総農家数	152	148	耕地	200	202	水稻	154	131	乳用牛	432	90	トラクター	177	172	A:平成27年 農林業センサス	
	専業農家数	173	184	田	166	160	いも類	576	776	肉用牛	405	415	田植機	140	119		B:平成22年 農林業センサス
	第一種兼業農家数	123	120	畑	307	336	工芸農作物	427	363	豚	78	543	コンバイン	129	110		
	第二種兼業農家数	137	111	樹園地	385	435	野菜類	37	214	ブロイラー	134	528					
	農業従事者数	148	172	草地	1840	2080	花き類	117	60							C:平成17年 農林業センサス	
変化の理由	後継者不足による減少			高齢化による減少			高齢化による減少			後継者不足による減少			機械の大型化				

第6節 地域環境の概要

本地区は、宮崎市田園環境マスタープランに基づき環境配慮区域に区分されている。計画区域内の配慮すべき資源について地域住民や有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかった。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本ため池は築造年代の古いため池である。取水施設は竖樋構造であり、緊急放流孔も無いため機能管理及び緊急時の対応が困難な状況にある。洪水吐は断面不足で、大雨時の越水及び破堤の危険性が懸念される。また、堤体はパイピングによる陥没が発生しており、漏水による危険性からため池に貯水できない状況となっている。

この様な状況の中、堤体決壊となればため池直下の太陽光発電施設や県道及び農業用施設等への多大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な改修が必要である。

2. 事業別面積

(第8表)

事業目的	農村地域防災減災事業																				計	備考
	土地利用区分																		計	備考		
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)					
農村地域防災減災事業	16.9	-	-	-	-	16.9														16.9		
計	16.9	-	-	-	-	16.9														16.9		

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、営農形態の転換を図るため施設園芸を導入し、安定した用水計画を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	輪換耕地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	現況	計画												
農村地域防災減災事業	現況		16.9	-	-	-	-	-	16.9	-	-	-	16.9	
	計画		16.9	-	-	-	-	-	16.9	-	-	-	16.9	
計	現況		16.9	-	-	-	-	-	16.9	-	-	-	16.9	
	計画		16.9	-	-	-	-	-	16.9	-	-	-	16.9	



5. 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (ha/10a)				備考
				区分	現況	計画	増△減	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
合計								

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
(桑園)												
その他												
計												

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地目別配分面積 (ha)							計	備考	
		田	輪換耕地	畑							
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節 用水計画

1. 計画基準年
2. 計画かんがい方式 開水路
3. 計画用水系統 変更なし
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失 率 (%)	必要水量		備考
		事業名		普通期	代播期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)	
		化農 ・業 防 水 路 災 減 等 災 害 耐 力 計 画	計	計画平 均単位 用水量	計画代 播単位 用水量		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数		一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数								
				(mm/日)	(mm)	(mm/日)	(日)	(mm/日)	(日)										
-	ため池	16.9	16.9	25	150	16.9								0.093			0.093		
計		16.9	16.9	25	150	16.9								0.093			0.093		

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (l/日)	最大給水量 (l/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m3)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考 損失率: α
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	ほ場利用 可能量 f (千m3)	純不足 水量 g=c-f (千m3)	全不足 水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水地名	流域面積 (Km2)		かんがい面積			純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
	直接	間接	事業名							
					計					

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (Km2)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m3/s)		渇水量 (m3/s)	備考
			事業名			最大	平均		
					計				

(ウ) 揚水機 該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m3/s)		揚水機			備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	
				計						

(エ) 用水路 該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m3/s)	延長 (Km)	構造	備考
	事業名						
			計				

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量

10年確率60分雨量= 77 mm/hr

2. 計画排水方式 自然排水

3. 計画排水系統 該当なし

4. 計画排水量 該当なし

(第 1 1 表- 1)

項目 排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接 単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
			計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(第 1 1 表- 2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計 画		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん水深 (m)	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機 該当なし

(第 1 1 表- 3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水路				備考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							

(3) 排水路 該当なし

(第11表-4)

名称	項目 流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名		計				名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
計											

(4) その他 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道 該当なし

(1) 道路 該当なし

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効)×延長		構造	既設道路との関係	備考
		(m)	(km)			
		×				
		×				
		×				
		×				

(2) 索道 該当なし

(第12表-2)

路線名	項目	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 該当なし

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第 1 3 表 - 1)

項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
土地利用区分					

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2. 土壌改良

該当なし

(第 1 3 表 - 2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統 (区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸吸 収係数 (mg/100g)	haあたり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCl			石炭 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調整計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第 1 4 表 - 1)

地 点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水 量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水 量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の 差(m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

該当なし

(第 1 4 表 - 2)

貯水池名	流域面積(Km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量(千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節 容量	他目的			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
- (3) 洪水調節要領 該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

(第 15 表)

名称	項目	延長 (m)	計画高潮(水)位	風向及び対岸距離	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備 考
			(T. P. m)	(km)			

第 9 節 農地整備計画

1. 区画整理

該当なし

(1) 区画の形状

該当なし

(第 16-1 表)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

該当なし

(第 16-2 表)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備 考

(3) 末端道水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

該当なし

(1) 暗渠排水

該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\% / s / ha$ )	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
	事業名	計							
計									

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名	計				
計						

3. 客土

該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名	計			現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)	
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

名称	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	水量		備考
					単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積(ha)	機能	備考
	計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称		位置		備考					
堤体	形式	流域面積(km <sup>2</sup> )		堤高(m)	堤長(m)	堤体積(km <sup>3</sup> )	基礎地盤地質	貯水量(km <sup>3</sup> )	
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量
	表面遮水壁型	0.148	-	6.0	100.0	9.91	-	34.0	34.0
洪水吐	形式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	備考	取水施設	型式	取水量(m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量(m <sup>3</sup> /s)

2. 頭首工 該当なし (第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤長(m)		位置	取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部					

3. 揚水機 該当なし (第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	

4. 用水路 該当なし (第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネルその他	計				
計										

5. その他かんがい施設

該当なし

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位(m)	外水位(m)	排水量(m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力( )	台数(台)	
計											

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長(Km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネルその他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なし

第 3 節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

該当なし

(第 19 表-1)

区分	項目	路線名	幅(有効) (m) ×延長(m)	構造	付帯構造物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
					名称	構造	数量(箇所)				
	計										

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第 19 表-2)

路線名	項目	名 称	規模構造	延 長(m)	箇所数(箇所)	備 考

(3) 索道

該当なし

(第 19 表-3)

名称	項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
					形式	動力( )	

第 4 節 農用地造成

1. 農地用造成工

(1) 抜根

該当なし

該当なし

(第 20 表-1)

区分	項目	樹 種	樹 径(cm)	haあたり本数 (本/ha)	面 積(ha)	工 法	備 考

2. 除礫

該当なし

(第 20 表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ(cm)	haあたり標準除礫量 (m3/ha)	面 積(ha)	工 法	備 考
	計					

## (3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工 法	備 考
	地目			
計				

## (4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工 法	備 考
計				

## (5) 末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

## (6) 末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

## 2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面 積(ha)	石灰量(t)	りん酸質資材量(t)	有機質資材量(t)	備 考
計						

第 5 節 洪水調整施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

該当なし

(1) 頭首工

該当なし

(第 2 1 表 - 2)

名称	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	位置			計画洪水位	付帯施設	備考
			固定部	稼動部	計			
計								

(2) 導水路

該当なし

(第 2 1 表 - 3)

水路名	項目	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長(m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第 6 節 干拓施設

1. 堤防

該当なし

(第 2 2 表 - 1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高(m)	盛土幅(m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

該当なし

(第 2 2 表 - 2)

項目 名称	工法	幅員(m)	敷高標高(m)	潮止め堤 標高(m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

4. 埋立

該当なし

(第 2 2 表 - 3)

区分	項目	面積(ha)	埋立標高(m)	埋立土量(m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

該当なし

(1) 区画整理

該当なし

(第 23 表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m3)	面積 (ha)	土量 (m3)	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第 23 表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

該当なし

(第 23 表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

該当なし

(1) 暗渠排水

(第 23 表-4-1)

項目	面積 (ha)		集水渠				吸水渠				集水渠出口以下の排水施設			備考		
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称		構造	数量 (m/ha)
区分																
計																

(2) 心土破碎

該当なし

(第 23 表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

## 3. 客土

該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積(ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業名	計					
	計							

## 4. 除礫

該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

## 5. 農地保全

## (1) 防災林

該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅(m)	延長(m)	面積(ha)	樹種	植栽本数(本)	備考
	計						

## (2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長(m)	流量(m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
		m			
		m			
	計	m			

## (3) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第 2 4 表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
		表面遮水壁型	0.148	6	100.0	9.91	4.0	34.0
洪水吐	型 式	洪水量	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		コンクリート三面張	5.51	5.6×1.4		-	取水孔 φ250×3孔 緊急放流孔径 φ300	0.093

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 付帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 8年度

完了 令和 11年度

第 8 章 環境との調和への配慮

工事に伴う土壌、土砂が河川に流出しないように努める。また、周辺の自然性の高い植生、動物に影響を及ぼさないように配慮する。

地形、植生改変を極力少なくし、周辺の自然環境との調和に配慮する。



3. 農用地集団化の方針

該当なし

(第25表-4)

換地区名	区分	地域別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地の方法

該当なし

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積(m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の精算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 精算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考



第 11 章 効 用

(第 27 表)

区分	項目	年総効果額	年総増加所得額	備 考
	減産防止効果	0 千円	0 千円	
	維持管理費節減	-28 千円	0 千円	
	災害防止効果(農業)	5,600 千円	0 千円	
	災害防止効果(一般)	3,000 千円	0 千円	
	計	8,572 千円	0 千円	

<参考>

妥当投資額： ー 百万円      投資効 率： ー  
 総 便 益 額： 196.7 百万円      総費用総 便 益 比： 1.22

第 12 章 関連する事業

該当なし

(第 28 表)

区分	事業名	事業主体	受益面積(ha)	事業内容

第 13 章 現況・計画図面

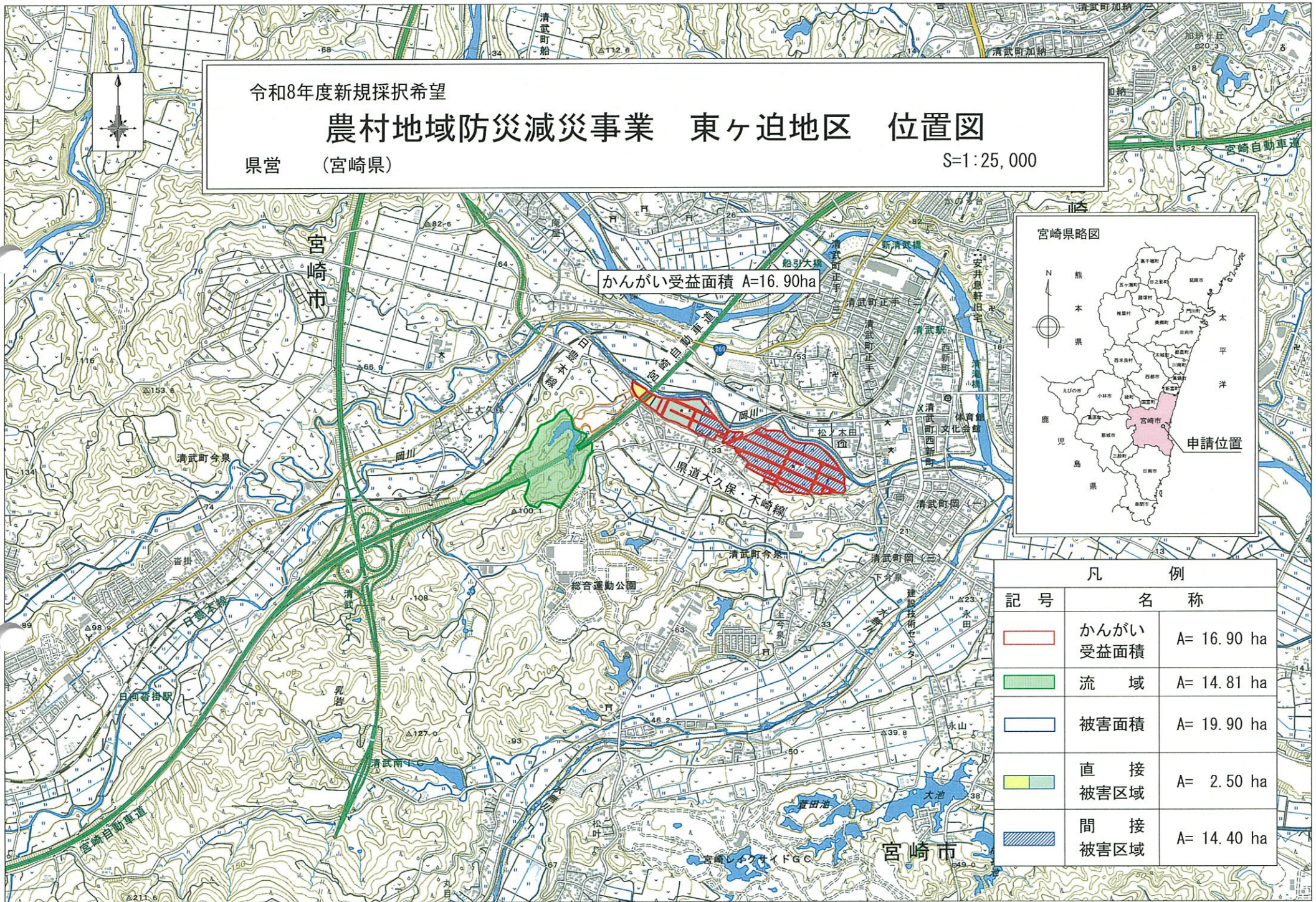
- 1. 計画位置図      別添
- 2. 計画平面図      別添

令和8年度新規採択希望

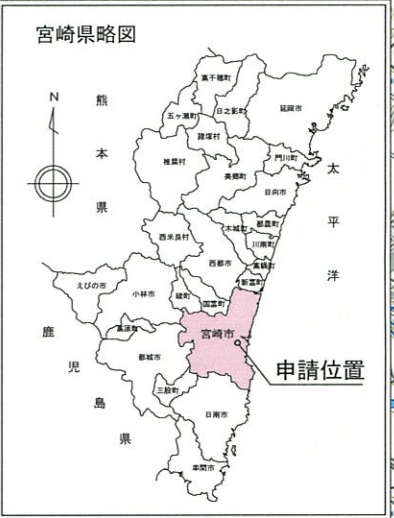
# 農村地域防災減災事業 東ヶ迫地区 位置図

県営 (宮崎県)

S=1:25,000

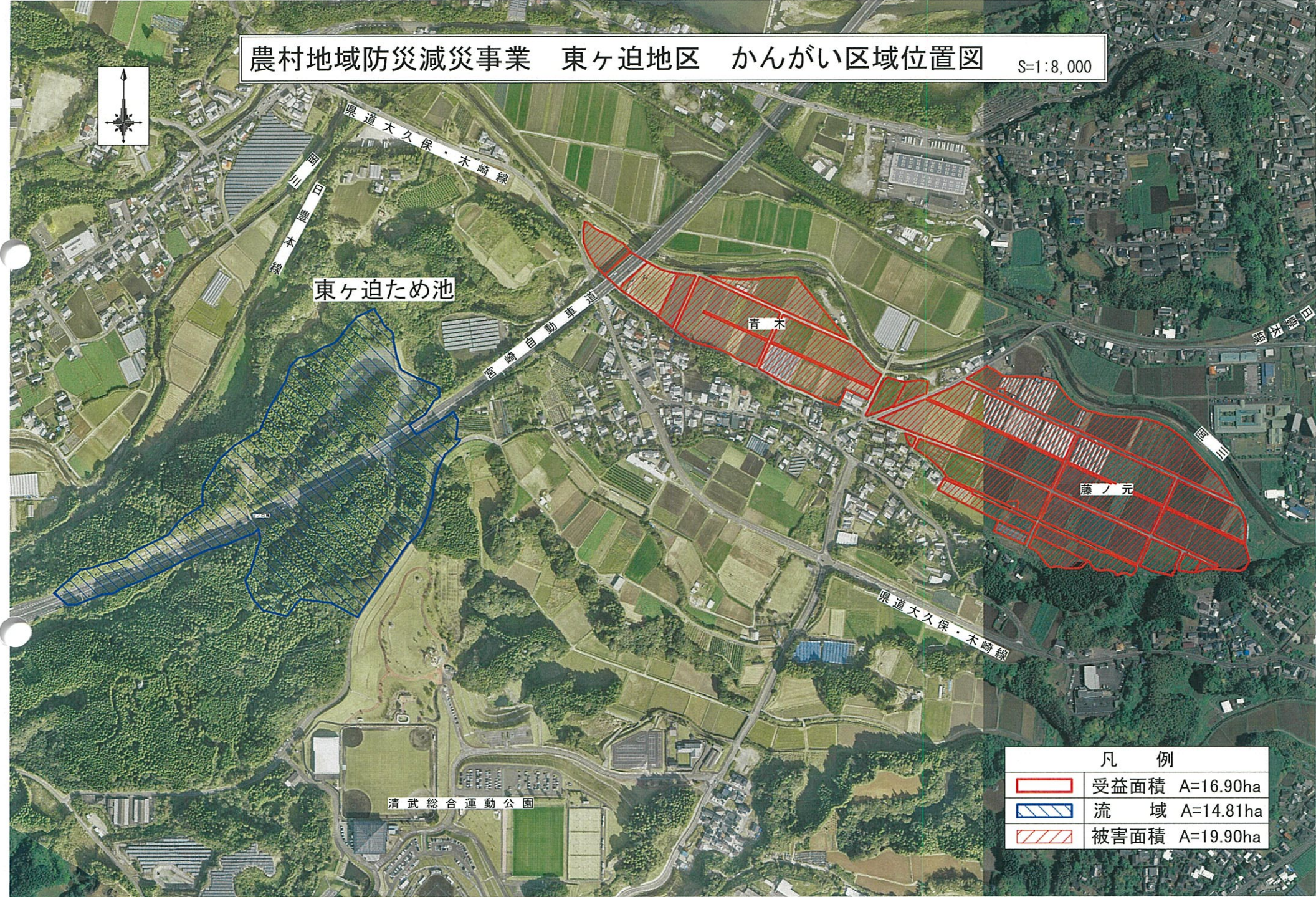


かんがい受益面積 A=16.90ha



凡 例		
記号	名 称	
	かんがい 受益面積	A= 16.90 ha
	流 域	A= 14.81 ha
	被害面積	A= 19.90 ha
	直 接 被害区域	A= 2.50 ha
	間 接 被害区域	A= 14.40 ha

農村地域防災減災事業 東ヶ迫地区 かんがい区域位置図 S=1:8,000



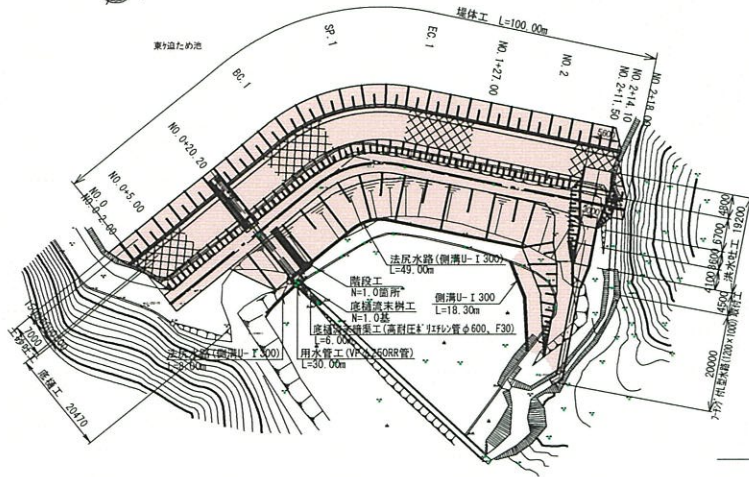
凡 例	
	受益面積 A=16.90ha
	流 域 A=14.81ha
	被害面積 A=19.90ha



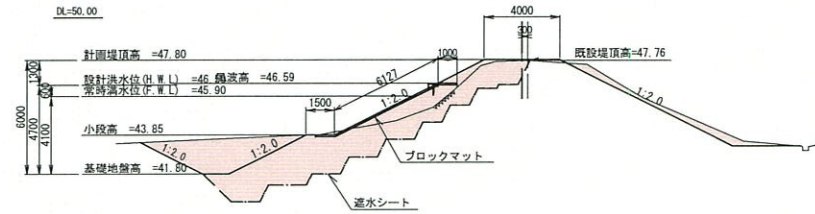
# 農村地域防災減災事業 東ヶ迫地区 一般計画平面図

県営 (宮崎市) [小規模]

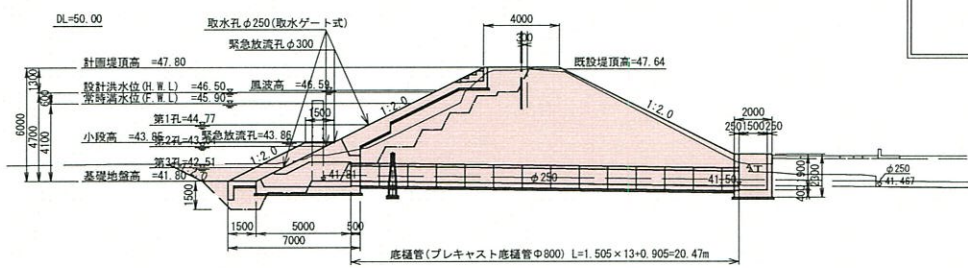
平面図 S=1:1500



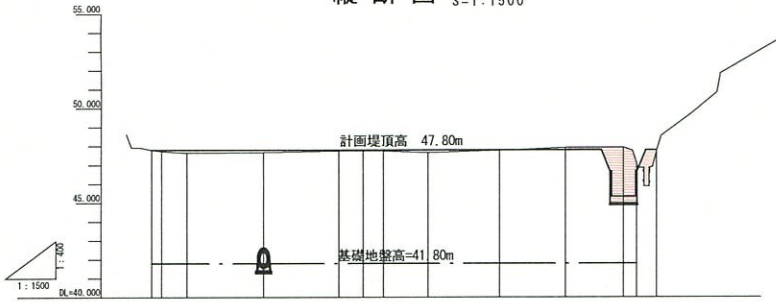
堤体標準断面図 S=1:400



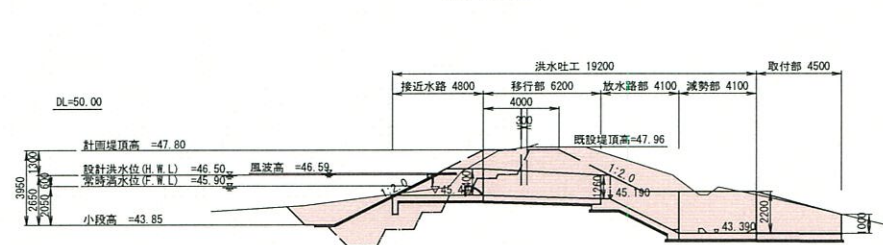
取水工 S=1:400



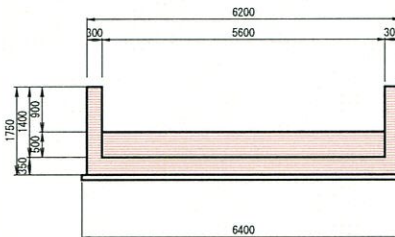
縦断面図 S=1:400  
S=1:1500



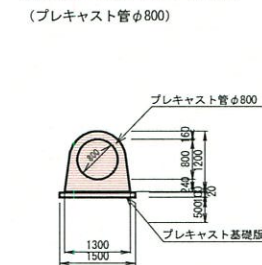
洪水吐工 S=1:400



洪水吐断面図 S=1:150



底樋工断面図 S=1:150



勾配	i=level L=100.00													
盛土	0.00%	0.07%	0.14%	0.11%	0.04%	0.04%	0.05%	0.13%	0.01%	0.01%	0.14%	0.16%	0.05%	0.01%
切土	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
計画高	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80	47.80
地盤高	47.80	47.75	47.80	47.80	47.75	47.80	47.75	47.80	47.75	47.80	47.75	47.80	47.75	47.80
追加距離	-2.000	0.000	5.000	20.200	35.151	40.000	43.980	52.815	61.000	68.000	74.100	80.000	84.100	88.000
掘距離	0.000	2.000	0.000	15.200	14.951	4.860	3.980	8.825	11.520	13.000	14.100	15.000	16.000	17.000
測点	NO.0-2	NO.0	NO.0-4	NO.0-10	NO.0-15	NO.0-1	NO.0-11	NO.0-16	NO.0-21	NO.0-12	NO.0-17	NO.0-18	NO.0-22	NO.0-13
曲線														

凡例	
	令和 年度要望箇所(測量試験費)
	令和 年度以降要望箇所

凡例	
	受益面積 A = 16.90ha
	流域 A = 14.81ha
	直接被害 A = 2.50ha
	計画水路
	既設水路
	令和 年度まで
	令和8年度
	令和8年度要求
	令和9年度以降